

～ 未来のために私たちができること ～

グリーン・エコプロジェクト

— 東京都トラック協会の取り組み —



一般社団法人 東京都トラック協会
業務部 次長 前川 宣将



一般社団法人 東京都トラック協会

目次

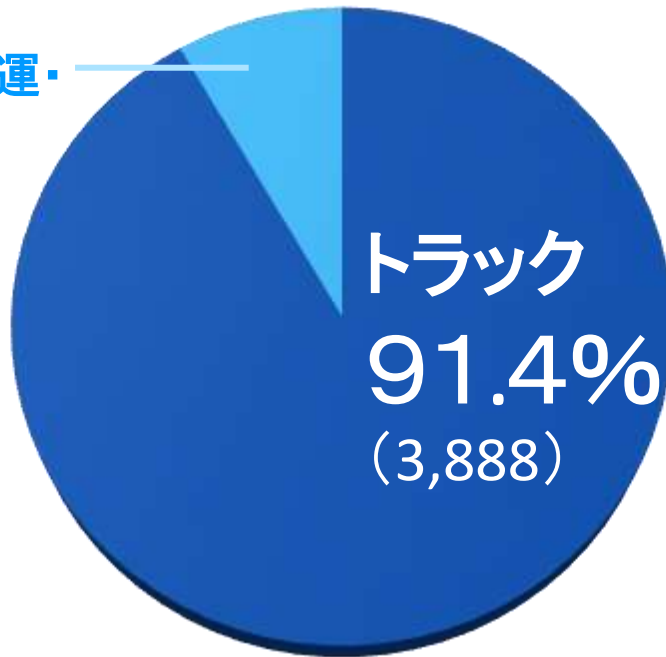
1. 東京都トラック協会の概要
2. 東京都トラック協会の環境対策事業
グリーン・エコプロジェクトの取り組み

輸送機関別分担率

輸送トン数

合計 4,253 (単位: 百万トン)

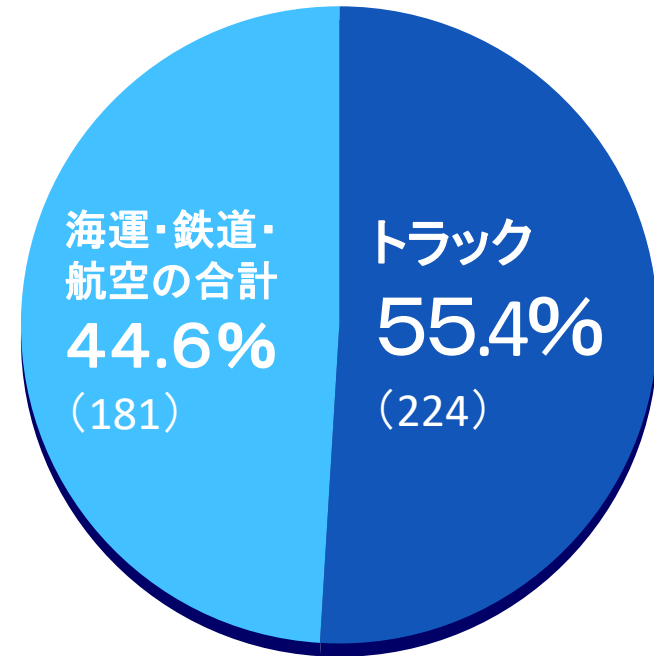
鉄道・海運・
航空
8.6%
(365)



※資料: 国土交通省/令和3年度
(自動車輸送統計年表)

稼働効率(トンキロ)ベース

合計 405 (単位: 十億トンキロ)



※トンキロとは、貨物輸送量を表す単位で、
例えば1トンの貨物を1km運んだ場合は、
「1トンキロ」と表します。

トラック運送事業者の推移



資料：
（公社）全日本トラック協会
「日本のトラック輸送産業
現状と課題 2023」より抜粋

東京都トラック協会の概要



協会の組織

全日本トラック協会

47都道府県トラック協会

東京都トラック協会

千代田

中央

港

品川

大田

渋谷

世田谷

目黒

新宿

中野

杉並

文京

豊島

板橋

練馬

北

台東

深川

城東

墨田

江戸川

葛飾

荒川

足立

多摩

八丈島

三宅島

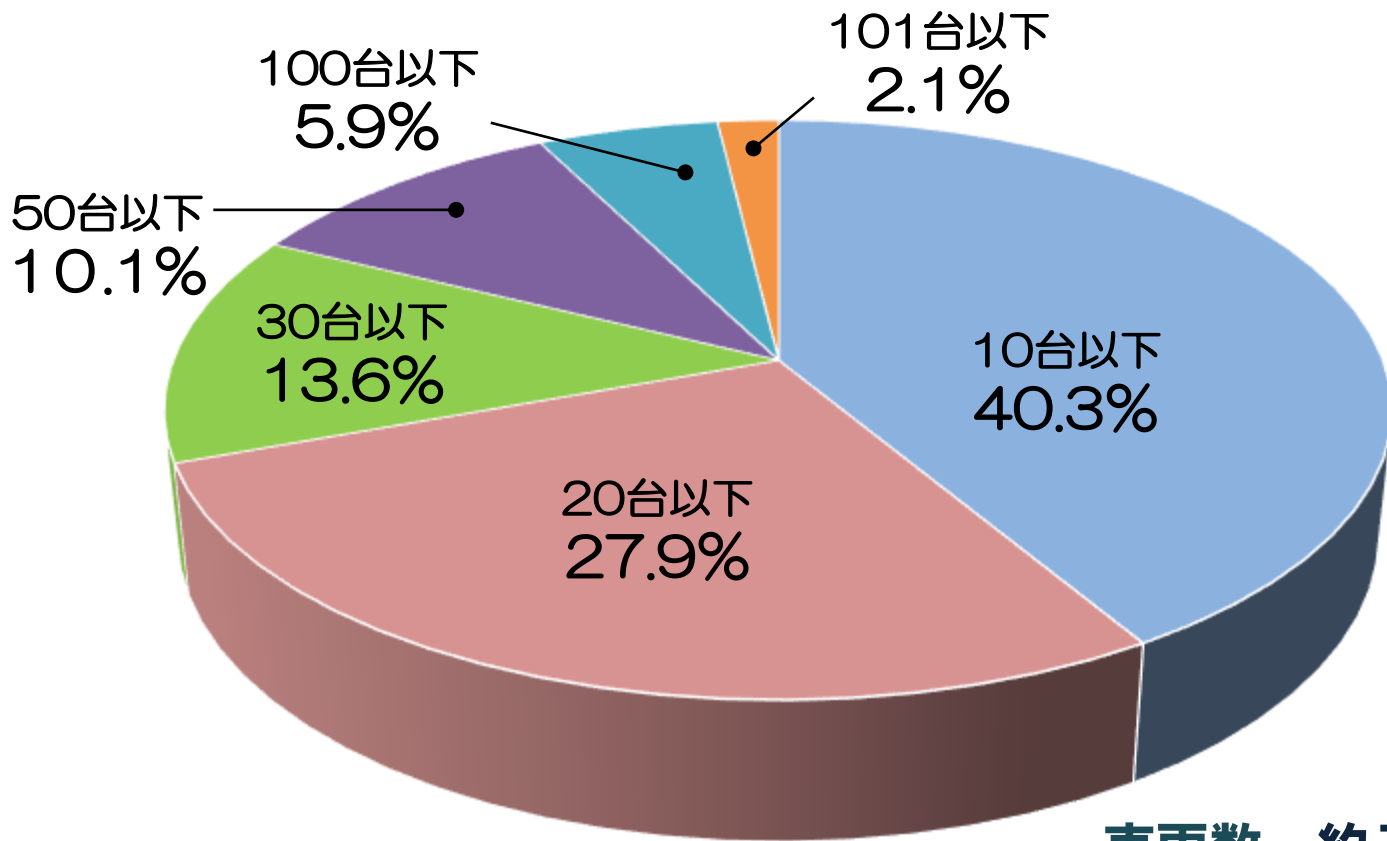
環境

全流協

25支部・2特別・2地域：会員 約3,040社

(R6. 1月末現在)

東京都トラック協会の車両規模別会員構成



※軽車両を除く

車両数 約74,050台

令和5年3月31日現在
「DataFile_2023」より

業界を取り巻く環境

日本を取り巻く環境



世界経済の不安

インフレ悪化
負担増



燃料価格高騰



少子高齢化



人材不足
労働問題



感染症対策



自然災害



トラック運送業界の課題

『働き方改革』

健康管理

高齢化

女性雇用

労働時間短縮



◆ トラックドライバーの不足 ◆

ドライバー不足の状況

2025年ドライバー需要総数 115万人
現状では**14万人不足**

2030年には
21万4千人(30%)不足となる



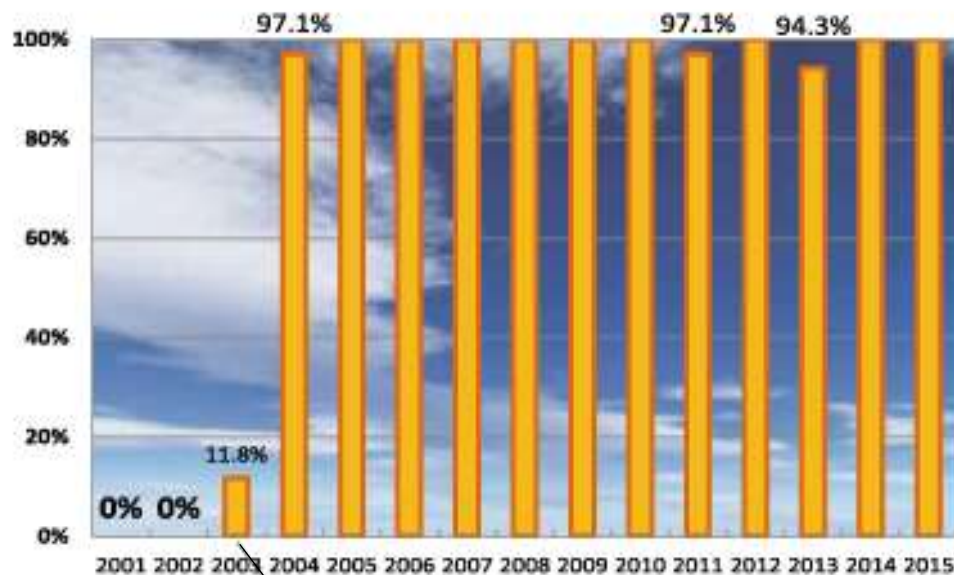
地域環境対策 (ディーゼル車規制)



「自動車NOx・PM法」と「環境確保条例」との主な相違点（車種規制）

事 項	自 動 車 N O x ・ P M 法	環 境 確 保 条 例
規 制 物 質	窒素酸化物(NOx)、粒子状物質(PM)	粒子状物質(PM)
規 制 の 内 容	排出ガス基準に適合しない車両の対策地域内での登録及び継続車検の禁止	粒子状物質排出基準に適合しないディーゼル車の都内(島嶼を除く)運行禁止
車種規制開始	平成15年10月(施行は平成14年10月)	平成15年10月
対 象 車	対策地域に使用の本拠がある自動車	東京都内を走行する自動車(自動車の登録地を問いません)
対 象 地 域	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、愛知県、三重県の一部の対策地域	島嶼を除く都内全域
対象となる車両	貨物自動車、バス、特殊自動車(いずれも燃料の種別を問わない) ディーゼル乗用車	(貨物、バス、特種自動車)ディーゼル車 ※8ナンバーの特種用途車のうち、乗用車をベースに改造したものは対象外
猶 予 期 間	小型貨物:8年、普通貨物:9年、特殊自動車:10年、 マイクロバス:10年、大型バス:12年、ディーゼル乗用車:9年	7年間 知事が指定した粒子状物質減少装置を装着すれば規制値に適合しているものとみなす
罰 則 等		運行責任者に運行禁止命令、運行禁止命令に従わない場合は、氏名公表 50万円以下の罰金
規 制 適 合 車	平成10. 11年規制適合車で車両総重量3.5トン超の車両(長期規制適合車=KKー、KLー) ただし、14. 15年規制車でも車両総重量3.5トン以下の車両は規制対象	平成14. 15. 16年規制適合車(新短期規制車)及び以降の規制適合車 (注)平成10. 11年規制適合車(長期規制車)で一部規制適合車あり

【東京都内の自動車排出ガス測定局における環境基準達成状況】



首都圏ディーゼル車排出ガス規制開始 (H15.10)



経済活動だけでなく、首都圏を中心とした大気環境の劇的な改善も、我々トラック業界の努力の成果といえます

地域環境対策のディーゼル規制・NO_x・PM法の対応から “地球環境対策への対応”

- 交通公害防止対策
- 環境保全対策
- 地球温暖化防止対策
- 省エネ対策



京都議定書

温室効果ガス

地球温暖化

改正省エネ法

CO₂削減

循環型社会

省エネ対策

エネルギー問題

東京都環境確保条例

自動車NO_x・PM法

運送事業者ができること



(1) 環境性能優良トラックの導入

NO_x・PM削減には、CNGトラック、CO₂削減なら最新規制適合トラック（燃費基準達成車）への代替

(2) 機器の活用や整備点検の強化

EMS、デジタコ、DRの活用、
タイヤの空気圧、各フィルターの清掃、
エンジン調整等整備・点検

(3) エコドライブ

ゆっくり発進・ゆっくり停止の実践＝**エコドライブの実践**
アイドリングストップ等

地球環境対策・・・CO₂削減計画

東京都トラック協会独自のエコドライブ活動

『グリーン・エコプロジェクト』を推進

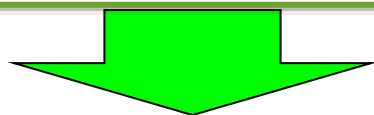


グリーン・エコプロジェクト



～ 未来のために私たちができること ～

『グリーン・エコプロジェクト』では、経営者・管理者・ドライバーの従業員一人一人が環境意識を高め、社会貢献・社会責任を主軸とした“環境CSR(環境から進める経営改善)”を目指す。継続的なエコドライブ活動を実践し、環境優良事業者として、信頼性の高い運送事業者への転換を図る。



2006年より 25社 車両数 549台からスタート

グリーン・エコプロジェクト



現在 **574**社 車両数 **19,106**台が参加
R6. 2月末現在
プロドライバーが環境と安全を真摯に取り組む

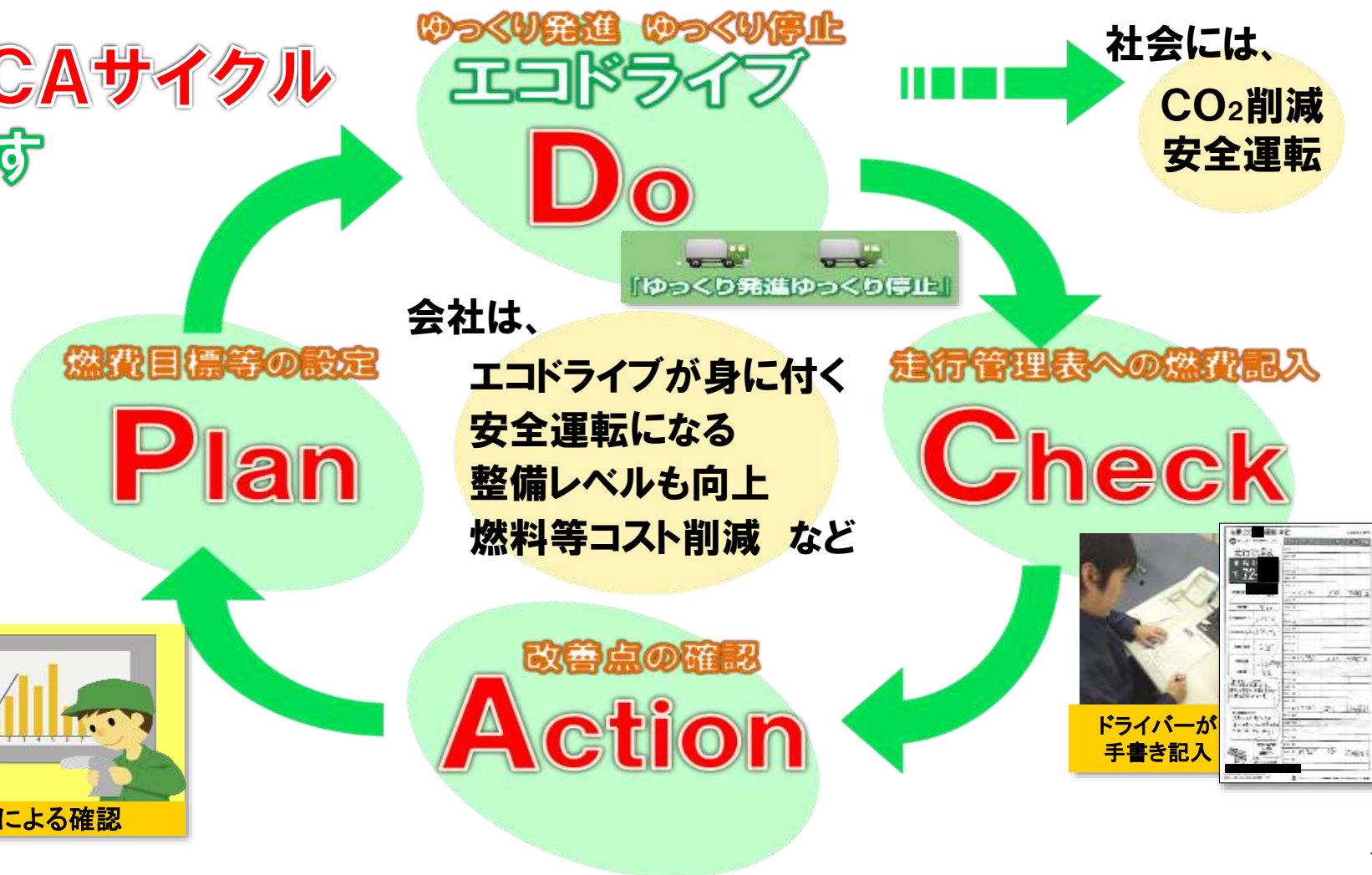
ステッカーが目印



現在、都内の
営業用(緑ナンバー)トラックの
およそ5台に1台が参加

P D C A の流れ

P D C A サイクル
を回す





なぜ？ 手書きがいいのか！

～Paper - and - Pencil Project～

プロドライバーの運転



「ゆっくり発進、ゆっくり停止」
の実践

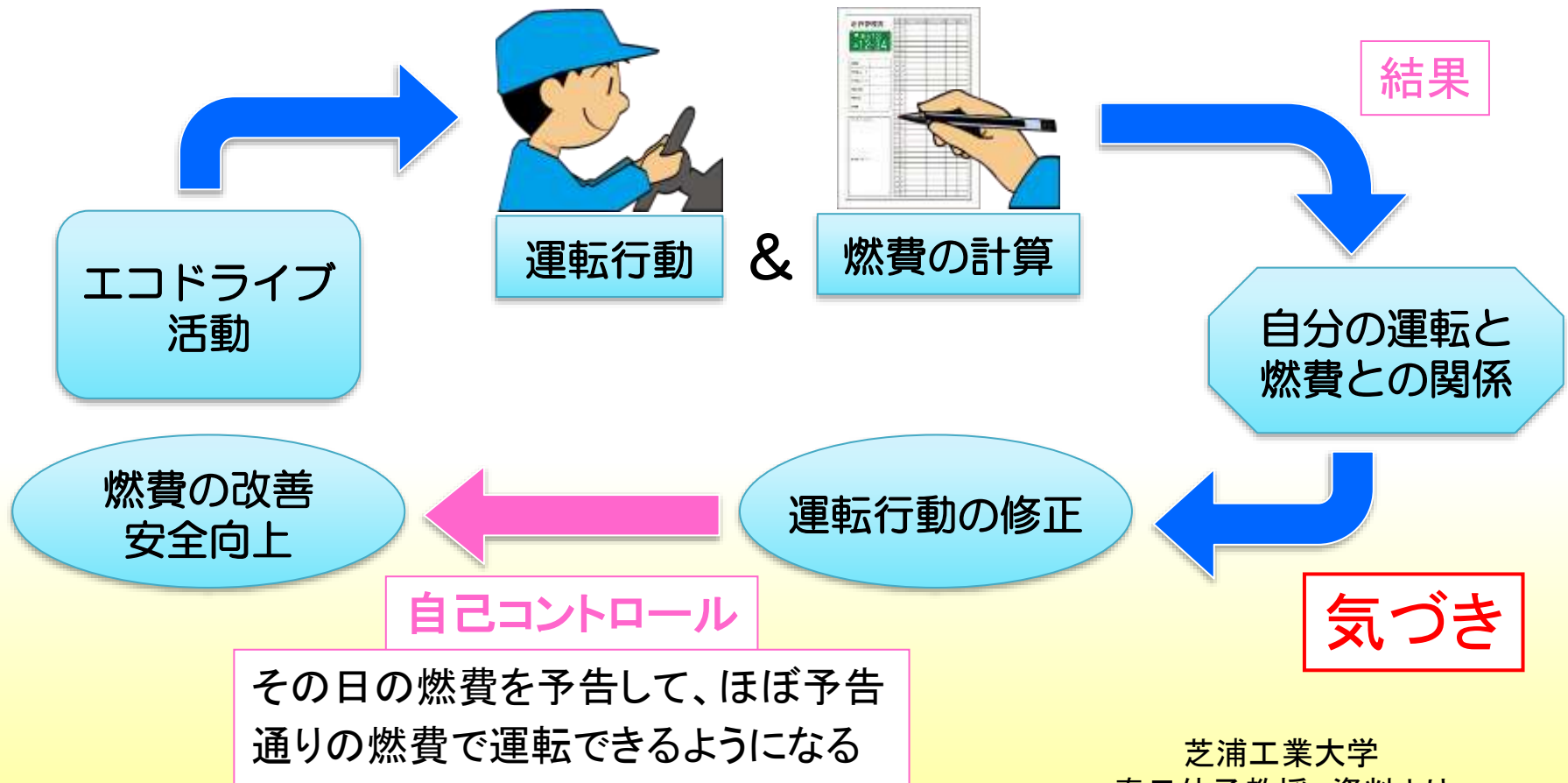
燃費の計算



ここから「気づき」が
生まれる

自分の運転と
燃費との関係

グリーン・エコプロジェクトによる「気づき」効果

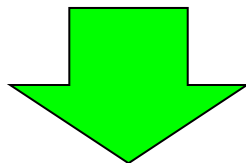


グリーン・エコプロジェクト セミナー



- ・ステップアップセミナー [毎月開催]
(基礎から実践力を身に付け、レベルに合わせた内容)
全5回の講習を**2ヶ月に1回受講**

管理者育成



次へのステップ

- ・継続セミナー (自社活用への実践的取組み内容)
3ヶ月に1回 (春季・夏季・秋季・冬季) 開催

令和6年1月末日まで (延べ)

累計 2,901 回開催、20,404 名参加

グリーン・エコプロジェクト セミナー風景 ①

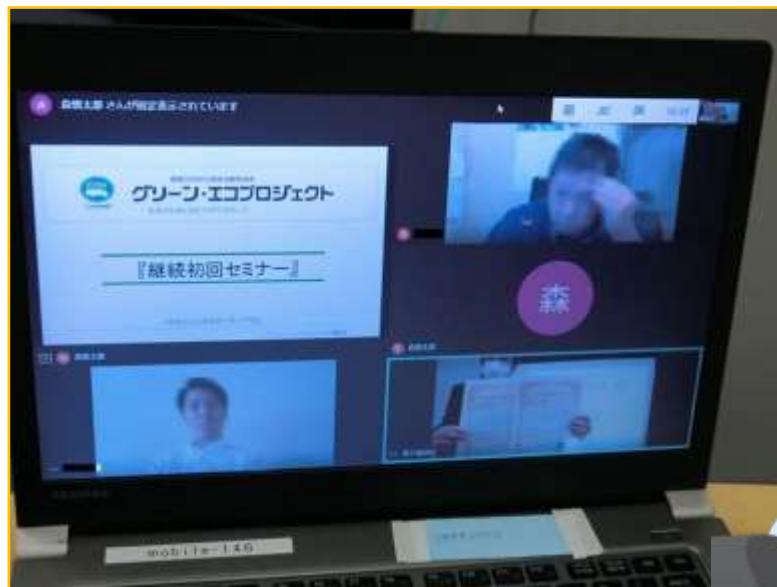


セミナーは少人数制で実施！

グリーン・エコプロジェクト セミナー風景 ②



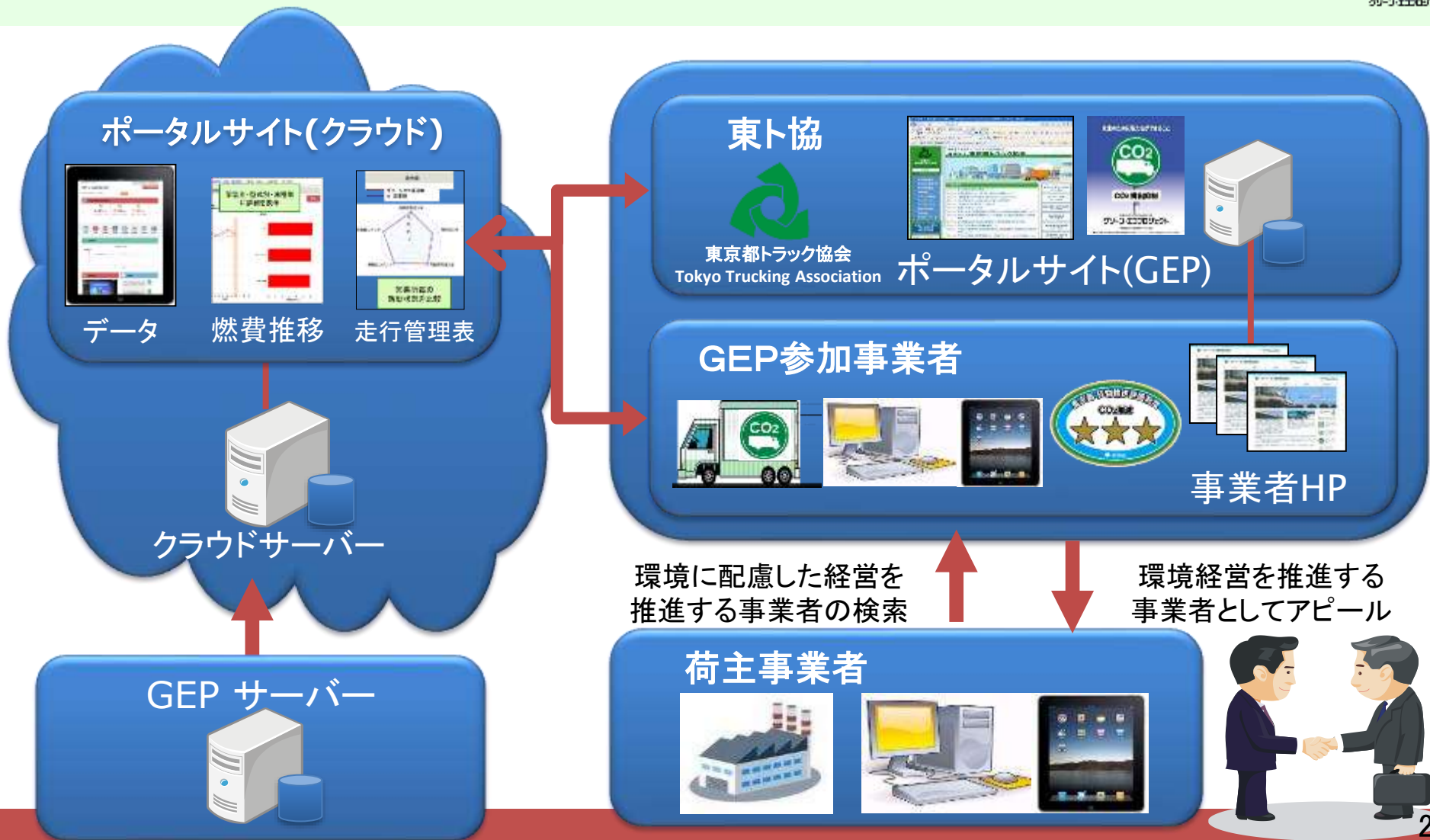
セミナー室とオンライン(WEB)併用でハイブリッド開催



オンライン受講できるように開催方法を改善！

[illegible]

グリーン・エコプロジェクト データベースのクラウド化〈例〉



グリーン・エコプロジェクトの活動実績

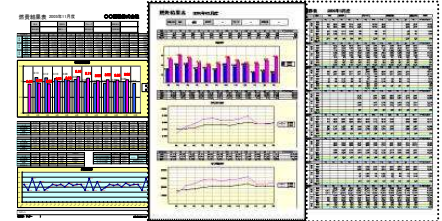
未来のために私たちができること



CO₂ 排出抑制

環境CSRから進める経営改善
グリーン・エコプロジェクト
 一般社団法人 東京都トラック協会





活動による効果（17年間の実績）

環境

燃料削減量

約11.3万kℓ

ドラム缶(200L)

約56万本分に相当



タンクローリー（大型14,400L）約7,847台分

CO₂削減量

約294,209t-CO₂

スギの木約2,101万本
植樹に相当

安全

交通事故低減率

17年間平均 28.0%削減



活動の取組みによる社内環境の改善

管理者、ドライバーのプロ意識の向上により



活動によるメリット



1. Gマーク取得項目の加点対象



2. グリーン経営認証取得に優位



3. 東京都貨物輸送評価制度の申請に有利



4. グリーン購入ネットワークへの登録



5. 東ト協インセンティブ補助

1) グリーン経営認証補助 2) ホームページ新規作成補助
3) 環境性能優良車導入補助 (重量車燃費基準達成車)



6. 東ト協GEP-JOBサイト(人材募集サイト)利活用

海外発信 - Paper-and-Pencil Project -



 **デンマーク** 2009年12月14日
COP15 サイドイベント



 **タイ** 2010年8月24日
第5回アジアEST地域フォーラム



 **ドイツ** 2011年9月8日
ベルリン・ブランデンブルグ交通・物流協会



 **中国** 2011年10月20日
第1回低炭素地球サミット2011

国際会議での様子

国連エコドライブカンファレンス (米国・ニューヨーク 国連本部)



2014年10月

国際会議での取組紹介



国連エコドライブカンファレンス



国連本部
(米国・ニューヨーク)



2014年10月
(米国・ニューヨーク)



2015年10月
(愛知県・名古屋市)



2016年11月 (米国・ニューヨーク)

グリーン・エコプロジェクトへの評価 ①



平成19年 環境大臣賞



平成21年「東京都環境賞」知事賞



平成22年 関東運輸局長表彰



平成22年
第11回 日本物流連「物流環境大賞」



低炭素杯2012
「最優秀イノベーション賞」



グリーン・エコプロジェクトへの評価 ②



第16回グリーン購入大賞
『大賞及び経済産業大臣賞』受賞
平成26年（2014年）12月

交通関係環境保全優良事業者等
国土交通大臣表彰
平成27年（2015年）12月

第2回『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』
「SDGs貢献賞」受賞
令和5年（2023年）2月



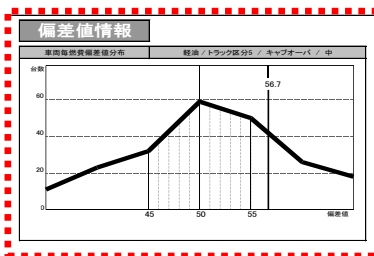
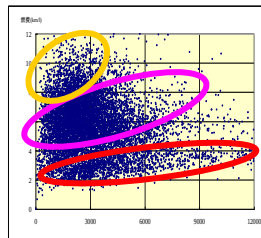
「東京都貨物輸送評価制度」へ全面協力



グリーン・エコプロジェクトで
収集した合計**86万台分**の
燃費データにより

世界最大規模の
データ量

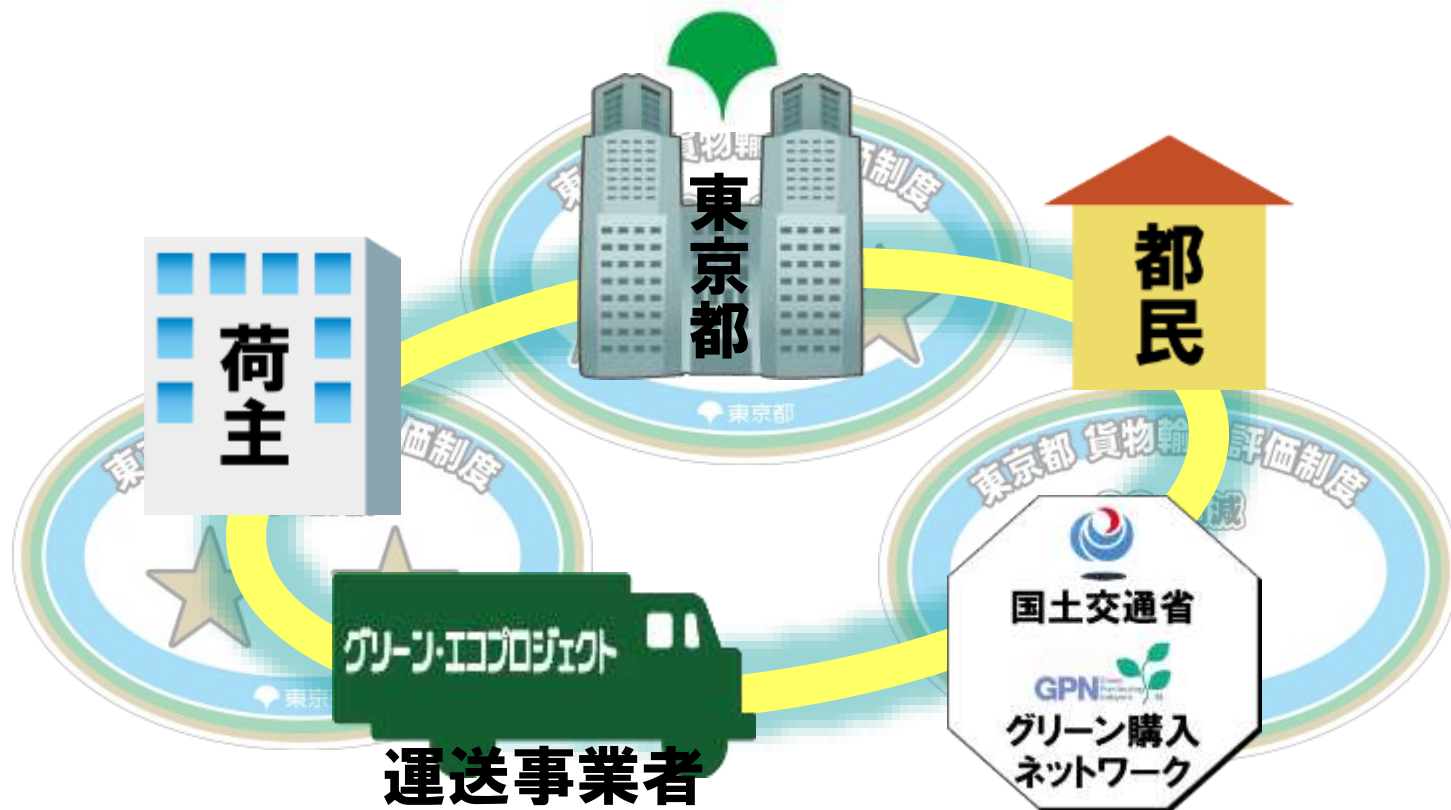
70区分の“ベンチマーク” (燃費の基準値) 設定



世界初のベンチマーク

「東京都貨物輸送評価制度」を活用

我々運送事業者、荷主企業、都民が協力して自動車からのCO2排出量を削減する
新たな仕組みを、関係機関と連携を図りながら、先導的・積極的に取組を展開



SDGsに貢献



エスディーゼズ SDGs (持続可能な開発目標)



エスディーゼズ
SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標) は、
2015年9月に国連加盟193か国で採択した2016年から2030年の
15年間で達成するための17の目標と169のターゲットを掲げ、
「地球上の誰一人として取り残さない」ことを理念とした、
持続可能な社会を実現するための国際的な目標です。

SDGsに貢献



目標の内容

1 貧困をなくそう  目標1【貧困】 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。	6 安全な水とトイレを世界中に  目標6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	12 つくばない消費と生産  目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費生産形態を確保する。
2 飢餓をゼロに  目標2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  目標7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。	13 気候変動に具体的な対策を  目標13【気候変動】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
3 すべての人に健康と福祉を  目標3【保健】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	8 働きがいも経済成長も  目標8【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。	14 海の豊かさを守ろう  目標14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
4 質の高い教育をみんなに  目標4【教育】 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	15 陸の豊かさも守ろう  目標15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
5 ジェンダー平等を達成しよう  目標5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行なう。	10 人や国々の間で公平さを  目標10【不平等】 国内及び各国家間の不平等を是正する。	16 平和と公正をすべての人に  目標16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
	11 住み続けられるまちづくりを  目標11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	17 パートナリシップで目標を達成しよう  目標17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

各目標の課題に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献

SDGsに貢献

東ト協環境対策事業の具体的な取り組み

< 環境改善促進事業 >



EMS・DR機器



リトレッドタイヤ

環境性能優良トラック



CNG・HV

< グリーン・エコプロジェクト (GEP) 事業 >

GEPセミナー



エコドライブ運転



「ゆっくり発進 ゆっくり停止」の実践

燃費の計算



ドライバー教育




東ト協環境対策事業を通じて、^{エスディージーズ}SDGsの目的と理念に賛同します

SDGsに貢献



さまざまな取り組みへの賛同

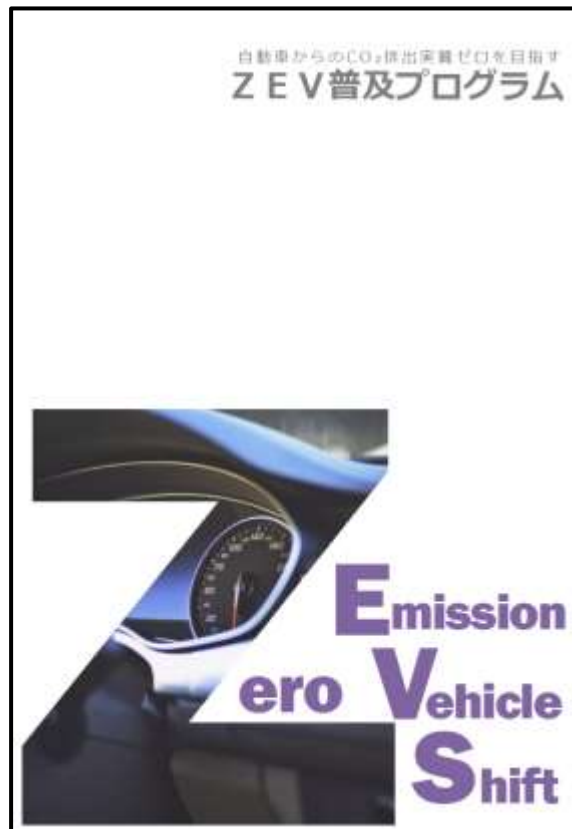


関係各所と連携して、さまざまな課題に取り組めます

< 東京都貨物輸送評価制度 >

ゼロエミッション東京の実現に向けて

東京都環境局



社会的連携・協力を推進



運送事業者

環境対応
交通事故減少



都民

世界初の
貨物輸送
評価制度

国民

環境美化
交通安全



だれもがWin×Win

荷主

安全・安心
の信頼確保



国

気候変動
への対策

ご清聴ありがとうございました



グリーン・エコプロジェクトHP